

口永良部島の火山活動について(第1報)

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省 5月29日 10:08 非常体制「当該災害に関する対策本部設置」

九州地方整備局 5月29日 10:08 非常体制 九州運輸局 5月29日 10:08 非常体制

国土地理院 5月29日 10:08 非常体制 気象庁本庁 5月29日 10:07 非常体制

2. 噴火の概要

○新岳では、本日(29日)09時59分に爆発的噴火が発生しました。

○この噴火により、噴煙が火口縁上9,000m以上まで上がりました。また、火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側(向江浜地区)方向の海岸まで達しました。

3. 気象の見通し

○種子島・屋久島地方では、29日は晴れた状態が続き、陸上では3～4メートル、海上は10メートル前後の東の風が続く見込み。波の高さは、2後1.5メートルの見込み。

4. 国土交通省の対応

・5/29 11:50 第1回幹部会議開催(大臣指示)

・調査観測兼清掃船「海煌(かいこう)」出港

九州本島との人員等の輸送に備え、熊本港湾・空港整備事務所の「海煌」が八代港を出港

13:30 八代港出港

23:00 鹿児島港入港予定

乗船可能人員 12名(乗務員除く)

・鹿児島運輸支局よりリエゾン2名を鹿児島県庁に派遣。

【フェリー太陽関連】

・屋久島町営のフェリー太陽が口永良部島本村港付近に13時20分着。

本村港への接岸は14時30分予定

・13時30分より島民は車で番屋ヶ峰から本村港へ移動開始

14時30分に本村港に到着予定

15時00頃を目処に、本村港よりフェリー太陽出港予定

17時00分頃屋久島到着予定

・口永良部島から屋久島へは所要1時間40分

○リエゾン(情報連絡員)派遣

・九州地方整備局より1県1町へ、3人派遣(5/29)。

(単位:人)

月日	5 29	合計
派遣場所		
鹿児島県	3	3
合計	3	3

○TEC-FORCEの派遣

- ・九州地方整備局より、防災コプターによる上空からの被災状況調査のため、口之永良部島へ4人派遣(5/29)。

(単位:人)

派遣地	月日	5	合計
		29	
九州地整		4	4
合計		4	4

5. 海上保安庁の対応

- 1249 「さつま」搭載艇が湯向集落着
救助要請のあった8名のうち、3名と会合(残り5名については現在湯向港向け移動中)
- 1252 負傷者2名(内訳:火山灰を被り火傷1名、心臓病1名)及び付添者1名がヘリポートにて
県防災ヘリに搬送
- 1310 特殊救難隊鹿児島基地航空基地着
- 1323 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に3名と会合(残り2名については捜索中)
- 1330 「さつま」搭載艇が救助要請のあった8名のうち、更に1名と会合(残り1名についてはすでに番屋ヶ峰避難所に避難しているとの情報あり)

(対応勢力)

- MA(固定翼機)×1
- MH(回転翼機)×1(機動救難士2名同乗、ヘリテレ伝送中)
- さつま 1232湯向冲着(150名乗船可能)
- 拓洋 1150本村沖合着(168名乗船可能)
- (※避難住民等の搬送を実施するフェリーの入港支援)
- こしき(機動救難士5名、消防士7名、鹿児島県警22名乗船)1210出港
- とから 1330現着予定(屋久島で屋久島町職員を乗船させ、現場へ回航)
- 特殊救難隊(1隊)1310鹿児島基地着
- 明洋 1500現着予定(搭載可能人員25名)

6. 所管施設等の状況

- 河川関係
 - ・現時点で被害情報なし
- ダム関係
 - ・島内にダムがないため、被災報告ダムなし
- 道路関係
 - 本村と湯向を結ぶ町道は噴石散乱のため通行不能との情報
 - 本村と番屋ヶ峰を結ぶ町道は通行可能との情報
- 住宅関係
 - ・現時点で被害情報なし
- 鉄道関係
 - 対象施設なし
- 自動車関係
 - ・被害情報なし
- 航空関係
 - ・現時点において被害情報なし

- 海事関係
 - ・現時点において被害情報なし
- 下水道関係
 - ・口永良部島においては、下水道施設がないことを確認済み。
- 港湾関係
 - ・現時点において被害情報なし
- 物流関係
 - ・現時点において被害情報なし
- 観光関係
 - ・現時点において被害情報なし
- 官庁施設
 - ・現時点で被害無し
- 公園関係、宅地関係等
 - ・現時点で被害情報なし

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 池本 代 表:03-5253-8111 内線35-822 直 通:03-5253-8461
